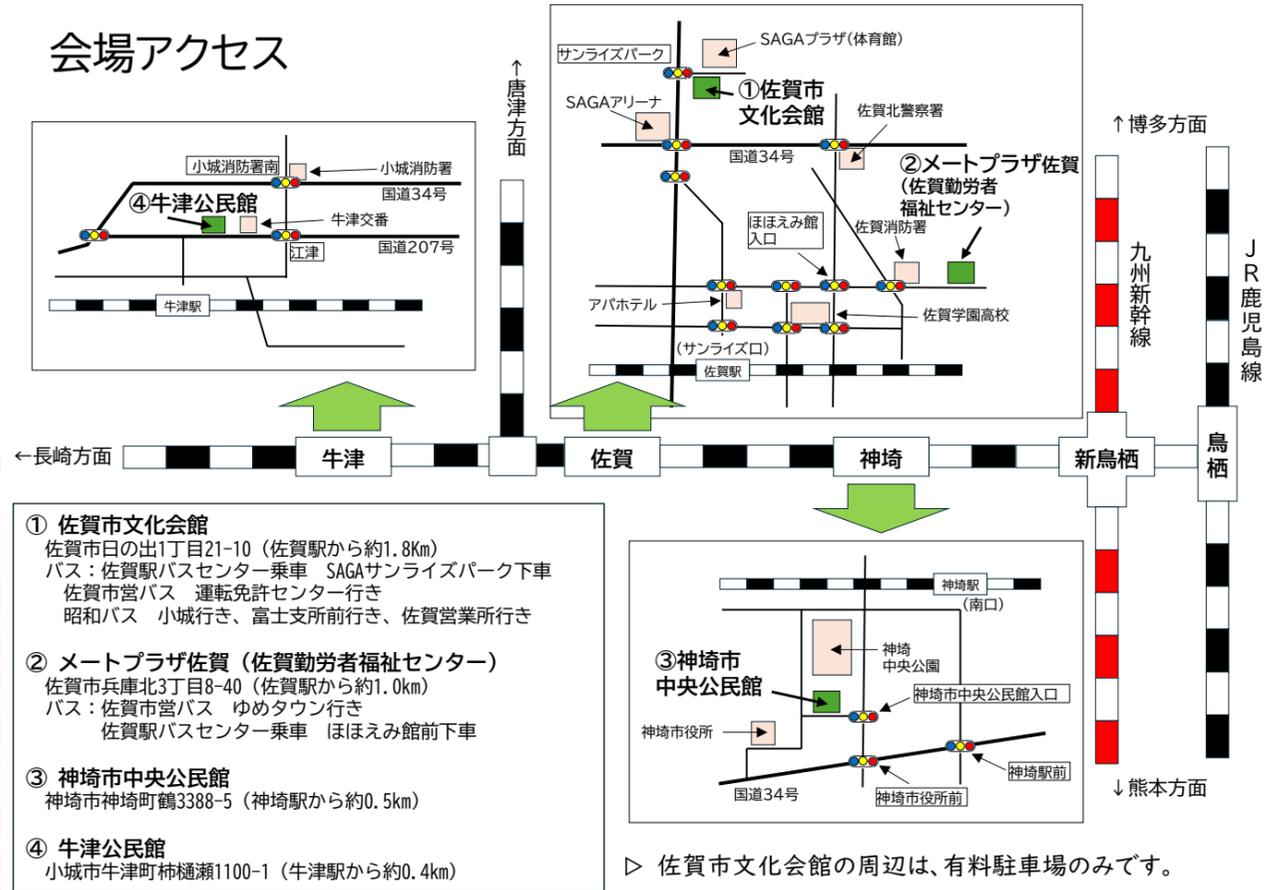


会場アクセス



- ① 佐賀市文化会館
佐賀市日の出1丁目21-10 (佐賀駅から約1.8km)
バス：佐賀駅バスセンター乗車 SAGAサンライズパーク下車
佐賀市営バス 運転免許センター行き
昭和バス 小城行き、富士支所前行き、佐賀営業所行き
- ② メートプラザ佐賀 (佐賀勤労者福祉センター)
佐賀市兵庫北3丁目8-40 (佐賀駅から約1.0km)
バス：佐賀市営バス ゆめタウン行き
佐賀駅バスセンター乗車 ほほえみ館前下車
- ③ 神崎市中央公民館
神崎市神崎町鶴3388-5 (神崎駅から約0.5km)
- ④ 牛津公民館
小城市牛津町柿樋瀬1100-1 (牛津駅から約0.4km)

参加にあたってのお願い

- 1日め・2日め、ともに**事前の申し込み**が必要です。右の二次元バーコードより、もしくは下記のURLより佐同教ホームページにアクセスし、申し込みください。
URL <https://sadoukyo.blue/>
電話・FAX・メールでの申し込みには対応していません。
- Webからの申し込みが難しい場合は、各県同教・県人教へお問い合わせください。
- 申し込み期間 2025年**7月7日(月)13:00**～**7月22日(火)17:00**まで
- 各会場で収容可能人数があります。収容人数を超えた場合は、他の会場への申し込みをお願いします。お早めの申し込みをおすすめします。
- 申し込み完了後に、「受付番号」が自動返信されます。
- 当日、受付で自動返信メールの内容を提示**してください。参加費をお支払い後、資料をお受け取りください。「受付番号」の提示がない場合は、ご入場いただけないことがあります。予めご了承ください。
- 駐車台数には制限があります**。公共交通機関(電車・バス・タクシーなど)の利用をお願いします。**佐賀市文化会館は有料駐車場のみ**となります。駐車できない場合は佐賀駅周辺の有料駐車場をご利用ください。また、当日は、周辺の混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお越しください。
- マイクロバス・大型バス**等でご来場予定の方は、**早めに佐賀県同教までご連絡**ください。
- 宿泊予約・昼食準備**は、各自でお願いします。
- 感染症等により開催内容や開催方法に変更が生じた場合や、台風などの悪天候や自然災害により中止になる場合は、「佐賀県人権・同和教育研究協議会」(第51回九州地区人権・同和教育夏期講座)のホームページでお知らせします。開催日が近づきましたら、各自でご確認ください。



各県お問い合わせ先

- 宮崎県同教 ▶ 0985-65-6003
- 長崎県人教 ▶ 0957-50-1268
- 福岡県同教 ▶ 092-651-8600
- 鹿児島県同教 ▶ 099-218-9310
- 熊本県人教 ▶ 096-384-5454
- 大分県人教 ▶ 097-556-1012

第51回九州地区人権・同和教育夏期講座実行委員会事務局 (佐賀県同教)
ホームページ <https://sadoukyo.blue/>
〒840-2014 佐賀県佐賀市大和町大字川上 927 番地 佐賀県教育センター中研修室棟内
TEL 0952-62-6434 FAX 0952-62-6435

第51回 九州地区人権・同和教育 夏期講座

〔兼〕 第54回 佐賀県人権・同和教育研究大会 全体会
〔兼〕 2025年度 佐賀市人権・同和教育夏期講座 / 2025年度 三神地区人権・同和教育夏期講座

大会テーマ 「誰もが生まれてきてよかったと思える社会」の実現をめざして
～ サガ発! 学びと行動をすべての世代に～

こあいさつ
部落差別をはじめあらゆる差別の解消と人権の確立に向け、九州各地においてご尽力いただいているみなさまに深く敬意を表しますとともに感謝申し上げます。
さて、人権の世紀と言われる21世紀も四半世紀が過ぎようとしていますが、いまだに世界各地で紛争や戦争が後を絶たず、かけがえのない命が奪われ危機にさらされています。また、人権を社会の中心的価値として位置付けできたアメリカでは、今年1月に誕生したトランプ政権が「反DEI(多様性・公平性・包摂性)」を掲げ、一人ひとりの個性を尊重し多様な価値観を共有する多様性社会の実現に逆行する政策を推し進めています。人権の世紀と大きくかけ離れた国際社会の現実があります。国内でも、コロナ禍において、感染者や医療従事者等に対する攻撃や排除などの差別行為が横行しました。また、インターネット上には、悪意に満ちた部落差別情報や特定の個人を執拗に誹謗中傷したりプライバシーを侵害したりする書き込みがあふれています。日本社会において人権が脆弱な状況であることの表れです。

人権が確立された社会の実現に向けて、私たちは身の回りにある課題にしっかりと向き合うことが何より重要です。同和教育は、「差別の現実から深く学ぶ」ことを基本にすえ取り組みを積み重ねてきました。学ぶことを通して、自らの差別性に気づき自己変革を図るとともに、構造的に差別を生み出している社会の制度やシステムを変革していく必要があります。厳しい状況に置かれている子どもやおとなの実態を踏まえた実践の交流を通して、九州全体としての人権の学びを深めたいと考えます。

開催地佐賀では、佐賀県実行委員会を組織し開催に向け万全の準備を重ねていただいています。今回は、佐賀県内のより多くの方に参加していただけるよう、初めて複数の自治体(佐賀市、小城市、神崎市)に会場が設置されます。九州各県から一人でも多くの方々に参加していただきますようお願い申し上げます。

第51回九州地区人権・同和教育夏期講座 実行委員長 九州地区県同教連絡協議会 会長 有光 洋

日時 2025年**8月19日(火)・20日(水)**

	12:00	13:00	13:30	16:30
19日	<全体会>	受付	開会行事	記念講演(100分)
	<特別講座>		特別講座 I (90分)	特別講座 II (90分)
20日	9:00	9:30	12:00	13:30
<分科会>	受付	学びと交流(分科会)	昼食(90分)	学びと交流(分科会)

【会場】**全体会**:佐賀市文化会館(大ホール) / **特別講座**:佐賀市文化会館(中ホール)
分科会:佐賀市文化会館(大ホール, 中ホール, イベントホール)/メートプラザ佐賀/小城市牛津公民館/神崎市中央公民館

【参加・資料代】3,000円 (当日、受付でお支払いください。)

【主催】第51回九州地区人権・同和教育夏期講座 実行委員会
第51回九州地区人権・同和教育夏期講座 佐賀県実行委員会

【共催】佐賀市教育委員会/小城市教育委員会/神崎市教育委員会
佐賀市人権・同和教育研究会/小城市人権・同和教育研究会/三神地区人権・同和教育研究会

【後援】佐賀県/佐賀市/小城市/神崎市/佐賀県教育委員会/福岡県教育委員会/大分県教育委員会/熊本県教育委員会/鹿児島県教育委員会/宮崎県教育委員会/長崎県教育委員会/沖縄県教育委員会/公益財団法人全国人権教育研究協議会/全国隣保館連絡協議会九州ブロック協議会/部落解放同盟九州ブロック県民会議/九社連児童養護施設協議会/九州ブロックPTA協議会/佐賀県小中学校校長会/佐賀県高等学校校長協会/部落解放同盟佐賀県連合会/部落解放・人権政策確立要求佐賀県実行委員会/部落解放同盟佐賀県民会議/(社)佐賀県部落解放推進協議会/佐賀県同対策推進連絡協議会/佐賀部落解放研究所/佐賀県隣保館連絡協議会/佐賀県教職員組合/同和問題にとりくむ佐賀県宗教者連絡協議会/佐賀地区同和問題7社協議会/佐賀県保育会/佐賀県公立幼稚園・こども園会/(社)佐賀県私立幼稚園・認定こども園連合会/佐賀県PTA連合会/佐賀県高等学校PTA連合会/佐賀県公民館連合会/佐賀県地域婦人連絡協議会/(社)佐賀県子ども会連合会/(社)佐賀県社会福祉協議会/西九州大学/西九州大学短期大学部/佐賀女子短期大学/九州龍谷短期大学/国立大学法人佐賀大学/社会福祉法人若楠どんぐり村/NPO小麦の家/NPOわかば (順不同)

オープニング（大会1日め）【会場】佐賀市文化会館<大ホール> ←有料駐車場のみです。

「平和の旅へ」合唱団さが

長崎で被爆した女学生の渡辺さんが、反戦平和を訴える語り部として活躍されるまでの半生を歌と語りとして表現する「平和の旅へ」。あの日から80年。日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞に輝いた今、改めてその意味を問います。お聴きください。

記念講演（大会1日め）【会場】佐賀市文化会館<大ホール> ←有料駐車場のみです。

「子どもの権利を基盤とした人権教育のあり方」 中央大学 文学部 教授 池田 賢市 さん

子どもの権利条約がなかなか学校の中に入っていない。その背景には、「子ども＝未熟」という捉え方の問題がある。そのイメージを超えて、「生活」を核にして人権教育を考えていくと、自然と差別問題が見えてくる。

特別講座Ⅰ（大会1日め）【会場】佐賀市文化会館<中ホール> ←有料駐車場のみです。

「みんなが主役の学校」 ～玖珠町立くす若草小中学校（学びの多様化学校）の歩み(2024年度)～

大分県玖珠町立 くす若草小中学校 校長 小原 猛 さん

大分県玖珠町に開校した「くす若草小中学校(学びの多様化学校)」は、「不登校」を経験した子どもたちと共に、登校時間や学習スタイルを柔軟にし、新設科目の「対話」「探求」「野遊び」等に取り組みました。子どもたちの自己肯定感を育み、ありのままの自分らしく学校生活を送ることをめざし、取り組んできた1年間の歩みを報告します。

特別講座Ⅱ（大会1日め）【会場】佐賀市文化会館<中ホール> ←有料駐車場のみです。

「明日は、いい日になる。」 人権劇団 光座 杉本 敏也 さん

小国発!! 学校やまちには「うれしい」がかくれている。やるかやらないかのちょっとした違いから始まる「子ども、家族、なかまといっしょ顔でつながる」人権の学びとまちづくり。あなたの一歩でまちの風景が変わります。

実践講座（大会2日め）

第1分科会

【会場】小城市牛津公民館

乳幼児期にかかわって

●「あした いっしょに あそぼうね!」～多文化保育で気づいたこと～
熊本県八代市立高田あけぼの保育園 住吉 瞳 さん
マリーさんとハンさんとの出会いと、二人の両親の思いに触れ、気づかされたことを園で共有して取り組んでこられました。3歳児の言語発達状況によるものだけでなく、外国にルーツを持つ子との生活から、お互いを知る大切さを子どもたちに伝えていった実践です。

□研究協力者 (NPO法人国際臨床保育研究所) 勝山 結夢さん
全国人権保育連絡会は、「人権保育の創造に向けての『8つの視点』」を提起しています。それぞれの視点について、「子どもの人権」「乳幼児教育と学校教育の接続・連携」など保育・教育の具体と重ねながら、研究協力者に講話してもらい、理念の具体化を図り日々の保育・教育につなぎたいです。

第2分科会

【会場】佐賀市文化会館(中ホール) ←有料駐車場のみです。

学校の教育力の充実Ⅰ

●『安心して学べる環境をめざして』～特別支援教育の視点を取り入れた中学校での3年間の実践～
長崎県立虹の原特別支援学校 坂本 慶絵 さん
研修交流で勤務した中学校で出会ったAさんは、感情コントロールが苦手で周りとうまく関われずいました。とことん話を聞き、改善点を一緒に考えたり、分かりやすく提示したりすることで、変容につながっていったことを報告します。

●「部落差別を解消するための学習を自分ごととして主体的に考えさせるには?」～教科書無償制度を入口として～
佐賀県みやき町立北茂安小学校 神代 真也 さん
入学式での「教科書授与」の写真から部落差別について考えます。なぜ無償なのか?差別の疑似体験も交えて話し合い、無償化の運動について知っていきます。年間を通した人権教育カリキュラムを学べる実践を報告します。

2

第3分科会

【会場】佐賀市文化会館(イベントホール) ←有料駐車場のみです。

学校の教育力の充実Ⅱ

●「ぼくのそんざいが うそばっかてくるしいです」
鹿児島県鹿児島市立清水小学校 永濱 美貴 さん
光さん(仮名)の日記に綴られた思いから取り組んだ「もやもや書き」は、子どもたちの胸の内にあるさまざまな思いをつないでいきます。そして、部落問題学習で、子どもたちが自分の弱さや苦しさを伝え合っていた実践を報告します。

●学び続けることが部落差別をなくすことにつながる
～延岡市学同教「中学校社会科人権・同和教育研修会」での授業実践を通して～
宮崎県延岡市立延岡中学校 新玉 宏司 さん
私自身の経験を含めた部落差別の現実、差別解消のための取り組み・法律などを学習した内容で、「学び続けることが部落差別をなくすことにつながる」ということを生徒といっしょに考えた授業実践の報告です。

3

第4分科会

【会場】メートプラザ佐賀

子ども支援・親支援Ⅰ

●「居場所をデザインする主役たちの話～自分を満タンにする居場所づくり～」
佐賀県「ま・まんてい」 圓城寺 真理子 さん
子どもに関わる全てのおとなの居場所づくりをしている市民団体「ま・まんてい」。居心地の良い居場所とは、そこに居る一人ひとりの主役たちがつくり出しているもの。発足からの想いや子どもを真ん中においた地域での子育て・おとな育て・自分育てとしての居場所づくりの事例を報告します。

●「特定の子と遊びたいわけではなく、みんなと仲良くしたい」
～私自身の思いこみから私自身の見つめ直しへ～
大分県佐伯市立下堅田小学校 安達 恵 さん
1人であることの多いAの声なき声から、学級の課題が浮き彫りとなります。その背景には、自分自身の子どもの向き合い方、寄り添い方に課題があったと気づかされ、自分を見つめ直す実践の報告です。

4

第5分科会

【会場】神崎市中央公民館

子ども支援・親支援Ⅱ

●「子どもや保護者と寄り添うときに大切にしていること」
長崎県立長崎明誠高等学校 岩坪 和美 さん
「生徒たちの言動には、理由がある」校内の教育相談体制づくりを進める過程でそう実感しました。生徒や保護者からの SOS に気づくチャンスを広げるために、授業を通した関わりや職員集団の連携に取り組んだ報告です。

●「それぞれの学習支援や進路保障のあり方」
～宮若市における不登校対策の取り組み～
福岡県宮若市教育委員会学習相談員 赤星 映子 さん
福岡県宮若市立光陵小学校 永翁 直美 さん
宮若市が不登校支援のために位置付けた学習相談員と、学校や関係機関が連携し、子どもの学習権を保障する実践です。学校や教職員に距離を取らざるを得なくなっている子どもと向き合い、その思いや願いから何が課題かを明確にして進路実現に取り組むことについて提起します。

5

第6分科会

【会場】佐賀市文化会館(大ホール) ←有料駐車場のみです。

人権のまちづくり

●「子どもの育ちを保障する人権のまちづくりと SDGs」
熊本県(NPO法人 SDGs Association) 神田 みゆき さん
教員としてたくさんの人と出会い、様々な気づきを与えてもらいました。出産や熊本地震の復興支援活動をきっかけに、出会いはさらに広がっていった。そんな中、2016年からスタートした世界的な取り組みである『SDGs』について、「誰ひとり取り残さない」という理念に、「同和」教育との重なりを感じ、社会に向けての取り組みとして活動を進めてきた実践です。

●「ふれあい食堂みかづき」
大分県 ふれあい食堂みかづき実行委員会 湯浅 博文 さん
秋好 稔 さん
北山田地区ふれあい食堂みかづき実行委員会が中心となり2021年から、多世代集いの場ふれあい食堂みかづきを開催している。多世代で関わる中で気づきが学びとなり、人権を大切に集いの場になっている報告です。

6